

表27. ADL維持群と悪化群における身体機能検査、運動機能検査の比較

	維持群(n=44)	悪化群(n=36)	p-value
身体機能検査			
握力(kg)	17.2(5.1)	16.4(6.5)	0.572
円背度数(%)	9.7(3.9)	11.4(6.4)	0.174
膝伸展筋力 (1-5)	4.7(0.4)	4.8(0.4)	0.725
VAS(cm)	2.3(2.6)	1.9(2.4)	0.502
運動機能検査			
TUG(sec)	12.6(4.4)	15.4(5.6)	0.016
5回立ち上がり時間(秒)	14.3(4.4)	16.4(5.8)	0.065
開眼片脚立ち時間(秒)	12.9(9.4)	5.7(6.6)	0.001
5m歩行時間(秒)	6.2(2.0)	7.7(4.3)	0.040
3軸加速度計による歩行分析			
RMS 水平軸	0.86(0.2)	0.83(0.2)	0.544
RMS 垂直軸	1.22(0.4)	1.08(0.4)	0.149
RMS 前後軸	1.39(0.7)	1.51(0.8)	0.508
CV	5.2(2.4)	7.3(5.2)	0.025
AC 水平軸	0.445(0.12)	0.447(0.15)	0.974
AC 垂直軸	0.568(0.11)	0.502(0.14)	0.025
AC 前後軸	0.571(0.11)	0.516(0.12)	0.041
平均(標準偏差)			

表28. 骨折後高齢者におけるADL低下危険因子

predictor	B	wald	95%CI	Odds	p-value
年齢	0.172	2.821	0.972 - 1.452	1.188	0.093
身長	0.109	0.846	0.884 - 1.407	1.115	0.358
体重	0.010	0.013	0.845 - 1.207	1.010	0.910
歩行状態(術前)	-0.365	0.071	0.047 - 10.189	0.694	0.790
基本チェックリスト(暮らしぶり1)	-0.255	0.206	0.257 - 2.332	0.775	0.650
脳卒中	2.091	2.255	0.528 - 123.864	8.089	0.133
服薬数	-0.065	0.181	0.696 - 1.263	0.938	0.671
歩行状態(退院時)	0.239	0.080	0.243 - 6.637	1.270	0.777
Barthel Index(退院時)	-0.246	1.730	0.542 - 1.128	0.782	0.188
TUG	0.071	0.106	0.699 - 1.650	1.074	0.745
5m歩行時間	-0.192	0.147	0.310 - 2.197	0.825	0.701
5回立ち上がり時間	-0.127	0.840	0.672 - 1.155	0.881	0.359
開眼片脚立ち時間	-0.135	1.808	0.718 - 1.064	0.874	0.179
CV	-0.613	4.711	0.312 - 0.942	0.542	0.030
AC-VT	-0.763	4.173	0.224 - 0.969	0.466	0.041
AC-AP	0.266	0.801	0.729 - 2.336	1.305	0.371

表29. 介護保険非使用と認定者の基礎項目の比較

	未認定群(n=41)	認定群(n=10)	p-value
基礎項目			
性別 (男性/女性)	(3/38)	(0/10)	0.378
年齢 (歳)	75.9(6.6)	80.4(4.7)	0.052
身長(cm)	149.9(7.2)	148.4(4.5)	0.567
体重(kg)	51.7(7.2)	48.7(7.5)	0.258
BMI(kg/m ²)	22.9(2.5)	21.8(3.5)	0.243
併存疾患			
高血圧(%)	48.8	30.0	0.285
脳血管疾患(%)	14.6	0.0	0.198
心疾患(%)	2.4	0.0	0.618
肺疾患(%)	2.4	0.0	0.618
糖尿病(%)	9.8	10.0	0.981
変形性関節症(%)	29.3	30.0	0.964
関節リウマチ(%)	2.4	0.0	0.618
骨粗鬆症の診断(%)	25.0	30.0	0.747
既存骨折(%)	7.5	60.0	0.001
骨折前の状況			
歩行状態 (独歩/補助具使用) (人数)	(23/18)	(6/4)	0.105
Barthel index(点)	99.7(1.0)	99.5(1.5)	0.546
基本チェックリスト (点)			
暮らしぶり1	0.6(1.1)	0.5(1.0)	0.660
運動器	1.4(1.3)	2.3(1.3)	0.096
栄養と口腔機能	0.7(0.9)	0.9(0.7)	0.709
暮らしぶり2	0.9(1.0)	0.8(1.3)	0.789
こころ	0.9(1.3)	1.0(1.5)	0.882
総得点	4.7(3.8)	5.5(4.6)	0.610
足腰 25 (点)	12.6(15.1)	22.6(19.2)	0.084
骨折部位 (上肢/体幹/下肢)	(5/19/17)	(1/3/6)	0.565
退院時の状況			
歩行状態 (独歩/補助具使用) (人数)	(23/18)	(6/4)	0.105
入院日数 (日)	53.1(27.4)	79.2(37.6)	0.016
Barthel index(点)	98.5(3.3)	97.5(5.4)	0.448
骨粗鬆症治療 (%)	17.9	37.5	0.218
服薬数(n)	3.9(3.4)	4.5(3.1)	0.615

平均 (標準偏差)

表30. 介護保険非使用者と認定者における身体機能検査、運動機能検査の比較

	未認定群(n=41)	認定群(n=10)	p-value
身体機能検査			
握力(kg)	17.9(5.4)	18.0(5.2)	0.979
円背度数(%)	9.6(5.0)	11.6(3.5)	0.272
膝伸展筋力 (1-5)	4.7(0.4)	4.8(0.4)	0.775
VAS(cm)	2.5(2.6)	1.5(2.5)	0.277
運動機能検査			
TUG(sec)	12.4(4.6)	12.7(4.1)	0.863
5回立ち上がり時間(秒)	13.4(4.0)	14.5(4.2)	0.476
開眼片脚立ち時間(秒)	9.0(8.8)	9.8(12.2)	0.818
5m 歩行時間(秒)	6.1(2.2)	6.4(2.2)	0.761
3軸加速度計による歩行分析			
RMS 水平軸	0.87(0.2)	0.81(0.2)	0.529
RMS 垂直軸	1.27(0.4)	1.07(0.3)	0.213
RMS 前後軸	1.55(0.9)	1.38(0.6)	0.592
CV	5.6(2.9)	4.9(1.4)	0.477
AC 水平軸	0.466(0.13)	0.460(0.08)	0.914
AC 垂直軸	0.578(0.12)	0.560(0.08)	0.667
AC 前後軸	0.580(0.11)	0.587(0.11)	0.863
平均(標準偏差)			

表31. 骨折後高齢者における介護保険認定危険因子

predictor	B	wald	95%CI		Odds	p-value
年齢	0.103	1.195	0.921	- 1.334	1.109	0.274
運動器	-0.103	0.050	0.364	- 2.232	0.902	0.823
足腰 25	0.013	0.129	0.944	- 1.087	1.013	0.720
既存骨折	2.619	6.552	1.847	- 101.927	13.721	0.010
入院日数	0.025	2.997	0.997	- 1.054	1.025	0.083

表32. 大腿骨近位部骨折患者における非転倒群、転倒群の比較

	非転倒群(n=18)	転倒群(n=6)	p-value
基礎項目			
性別 (男性/女性)	(3/15)	(0/6)	0.285
年齢 (歳)	79.8(9.7)	82.6(6.5)	0.523
身長(cm)	150.4(6.9)	147.5(2.5)	0.333
体重(kg)	49.2(7.3)	43.9(5.9)	0.121
BMI(kg/m ²)	21.8(3.4)	20.2(3.2)	0.343
併存疾患			
高血圧(%)	11.1	16.7	0.722
脳血管疾患(%)	22.2	33.3	0.586
心疾患(%)	5.6	16.7	0.394
肺疾患(%)	11.1	0.0	0.394
糖尿病(%)	22.2	33.3	0.586
変形性関節症(%)	27.8	50.0	0.317
関節リウマチ(%)	0.0	0.0	1.000
骨粗鬆症の診断(%)	17.6	0.0	0.270
既存骨折(%)	27.8	0.0	0.147
骨折前の状況			
歩行状態 (独歩/補助具使用) (人数)	(14/4)	(3/3)	0.195
Barthel index(点)	99.7(1.1)	100.0(0.0)	0.575
基本チェックリスト (点)			
暮らしぶり 1	1.0(1.2)	0.3(0.8)	0.190
運動器	1.9(1.5)	2.1(1.4)	0.766
栄養と口腔機能	1.0(0.9)	1.0(0.8)	0.900
暮らしぶり 2	1.2(1.0)	0.8(1.1)	0.381
こころ	1.3(1.6)	0.6(0.8)	0.345
総得点	6.6(4.3)	5.0(2.6)	0.393
足腰 25 (点)	17.5(18.1)	25.5(21.6)	0.381
退院時の状況			
歩行状態 (独歩/補助具使用) (人数)	(3/15)	(2/4)	0.604
入院日数 (日)	70.9(29.4)	90.3(4.8)	0.186
Barthel index(点)	96.9(4.8)	98.3(2.5)	0.517
骨粗鬆症治療 (%)	17.6	0.0	0.270
服薬数(n)	4.8(3.6)	5.8(3.3)	0.579
平均(標準偏差)			

表33. 大腿骨近位部骨折患者における非転倒群と転倒群の身体機能検査、運動機能検査の比較

	非転倒群(n=18)	転倒群(n=6)	p-value
身体機能検査			
握力(kg)	17.3(4.19)	13.6(4.0)	0.068
円背度数(%)	9.9(6.1)	7.8(3.7)	0.451
膝伸展筋力 (1-5)	4.8(0.3)	4.6(0.5)	0.223
VAS(cm)	1.7(2.19)	1.1(2.8)	0.581
運動機能検査			
TUG(sec)	14.0(4.5)	14.9(5.4)	0.705
5回立ち上がり時間(秒)	13.1(4.0)	16.1(4.3)	0.149
開眼立ち上がり時間(秒)	12.1(14.1)	4.7(4.2)	0.228
5m歩行時間(秒)	6.7(2.7)	8.1(2.2)	0.301
3軸加速度計による歩行分析			
RMS 水平軸	0.87(0.2)	0.71(0.17)	0.108
RMS 垂直軸	1.08(0.2)	0.87(0.3)	0.161
RMS 前後軸	1.34(0.4)	1.66(0.2)	0.354
CV	7.1(0.3)	12.4(9.0)	0.037
AC 水平軸	0.439(0.14)	0.322(0.09)	0.099
AC 垂直軸	0.552(0.10)	0.324(0.10)	0.001
AC 前後軸	0.557(0.13)	0.451(0.12)	0.097
平均(標準偏差)			

表34. 椎体圧迫骨折患者における非転倒群と転倒群の比較

	非転倒群(n=17)	転倒群(n=16)	p-value
基礎項目			
性別 (男性/女性)	(0/17)	(1/15)	0.295
年齢 (歳)	80.4(5.59)	82.3(7.8)	0.426
身長(cm)	146.3(5.1)	147.0(6.2)	0.751
体重(kg)	44.3(9.7)	48.5(7.2)	0.176
BMI(kg/m ²)	20.7(4.4)	22.1(2.6)	0.288
併存疾患			
高血圧(%)	70.6	50	0.226
脳血管疾患(%)	5.9	6.3	0.295
心疾患(%)	5.9	0	0.325
肺疾患(%)	0	6.3	0.295
糖尿病(%)	0	6.3	0.295
変形性関節症(%)	29.4	18.8	0.475
関節リウマチ(%)	5.9	0.0	0.325
骨粗鬆症の診断(%)	43.8	50	0.723
既存骨折(%)	21.4	46.7	0.153
骨折前の状況			
歩行状態 (独歩/補助具使用) (人数)	(14/3)	(10/8)	0.088
Barthel index(点)	99.7(1.2)	97.8(4.4)	0.102
基本チェックリスト (点)			
暮らしぶり 1	0.8(1.2)	1.3(1.5)	0.323
運動器	1.4(1.0)	2.6(1.4)	0.014
栄養と口腔機能	1.1(0.9)	1.3(1.0)	0.455
暮らしぶり 2	0.9(0.8)	1.1(1.2)	0.524
こころ	0.8(1.1)	1.6(1.8)	0.142
総得点	5.2(3.6)	8.1(4.9)	0.060
足腰 25 (点)	16.4(15.7)	20.5(22.6)	0.544
退院時の状況			
歩行状態 (独歩/補助具使用) (人数)	(7/9)	(9/8)	0.550
入院日数 (日)	55.5(25.2)	54.5(24.4)	0.907
Barthel index(点)	97.9(5.0)	96.9(4.8)	0.556
骨粗鬆症治療 (%)	21.4	46.7	0.723
服薬数(n)	4.9(3.2)	5.2(3.5)	0.812

平均(標準偏差)

表35. 椎体圧迫骨折群における非転倒群と転倒群の身体機能検査、運動機能検査の比較

	非転倒群(n=17)	転倒群(n=16)	p-value
身体機能検査			
握力(kg)	16.6(5.0)	15.8(5.2)	0.685
円背度数(%)	10.7(4.9)	10.4(3.9)	0.878
膝伸展筋力 (1-5)	4.4(0.6)	4.8(0.3)	0.029
VAS(cm)	3.3(3.0)	2.2(1.9)	0.215
運動機能検査			
TUG(sec)	11.9(2.5)	16.0(7.1)	0.032
5 回立ち上がり時間 (秒)	14.0(2.3)	18.6(7.6)	0.025
開眼立ち上がり時間(秒)	11.8(11.4)	5.9(7.0)	0.086
5m 歩行時間(秒)	6.4(1.6)	8.0(6.2)	0.301
3 軸加速度計による歩行分析			
RMS 水平軸	0.78(0.1)	0.83(0.2)	0.519
RMS 垂直軸	1.21(0.3)	1.06(0.4)	0.293
RMS 前後軸	1.71(0.9)	1.39(1.1)	0.400
CV	4.4(1.5)	5.3(2.5)	0.436
AC 水平軸	0.451(0.12)	0.488(0.13)	0.431
AC 垂直軸	0.569(0.13)	0.539(0.13)	0.531
AC 前後軸	0.573(0.11)	0.527(0.13)	0.298
平均(標準偏差)			

別紙 1

研究協力施設一覧

同愛会 博愛病院

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1880 TEL. 0859-29-1100

リハビリテーション科 理学療法士 松本浩実

共済会 清水病院

〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町 129 TEL. 0858-22-6161

リハビリテーション科 理学療法士 三谷管雄

十字会 野島病院

〒682-0881 倉吉市瀬崎町 2714-1 TEL. 0858-22-6231

リハビリテーション科 理学療法士 生原加奈江

中部医師会立 三朝温泉病院

〒682-0122 鳥取県東伯郡三朝町大字山田 690 TEL. 0858-43-1321

リハビリテーション科 理学療法士 山根隆治

別紙 2

症例調査票

評価日： 年 月 日

◆ 選択基準と除外基準

本研究に対する患者の適合性を評価するために、以下の選択基準と除外基準の各項目に○印で回答して下さい。

選択基準：			
1.	2011年 月 日以降に上肢、下肢および脊柱等の骨折をした患者 (再骨折、複数骨折含む)	① いいえ	③ はい
2.	受療時に65歳以上の患者	① いいえ	② はい
3.	在宅生活の患者(ケアハウス等は自宅扱い)	① いいえ	② はい
4.	診療記録に以下のデータ項目の記載がある患者 - 年齢 - 骨折に関わる治療内容	① いいえ	② はい
5.	患者あるいは家族などの代理人が本研究へ協力し、参加への同意が得られる患者	① いいえ	② はい
	いずれかの項目で「 <u>いいえ</u> 」に○印がついた患者は除外する。		
除外基準：			
1.	術前に歩行が不可能であった患者	① いいえ	② はい
2.	認知症が重度、もしくはコミュニケーションが取れない患者	① いいえ	② はい
3.	以下の運動機能が実施不可能、もしくは実施が危険である患者 歩行テスト、timed up & go test、立ち上がりテスト	① いいえ	② はい
	いずれかの項目で「 <u>はい</u> 」に○印がついた患者は除外する。		

受傷前の Barthel index

1 食事	10：自立、自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終える 5：部分介助（たとえば、おかずを切って細かくしてもらう） 0：全介助
2 車椅子からベッドへの移動	15：自立、ブレーキ、フットレストの操作も含む（非行自立も含む） 10：軽度の部分介助または監視を要する 5：座ることは可能であるがほぼ全介助 0：全介助または不可能
3 整容	5：自立（洗面、整髪、歯磨き、ひげ剃り） 0：部分介助または不可能
4 トイレ動作	10：自立、衣服の操作、後始末を含む、ポータブル便器などを使用している場合はその洗浄も含む 5：部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する 0：全介助または不可能
5 入浴	5：自立 0：部分介助または不可能
6 歩行	15：45M以上の歩行、補装具（車椅子、歩行器は除く）の使用の有無は問わない 10：45M以上の介助歩行、歩行器の使用を含む 5：歩行不能の場合、車椅子にて45M以上の操作可能 0：上記以外
7 階段昇降	10：自立、手すりなどの使用の有無は問わない 5：介助または監視を要する 0：不能
8 着替え	10：自立、靴、ファスナー、装具の着脱を含む 5：部分介助、標準的な時間内、半分以上は自分で行える 0：上記以外
9 排便コントロール	10：失禁なし、浣腸、坐薬の取り扱いも可能 5：ときに失禁あり、浣腸、坐薬の取り扱いに介助を要する者も含む 0：上記以外
10 排尿コントロール	10：失禁なし、収尿器の取り扱いも可能 5：ときに失禁あり、収尿器の取り扱いに介助を要する者も含む 0：上記以外
合計	点／100点中

受傷前の基本チェックリストと足腰 25

暮らしぶり その1				
N O.	質問事項	回答		得点
1	バスや電車で1人で外出していますか	0. はい	1. いいえ	
2	日用品の買い物をしていますか	0. はい	1. いいえ	
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ	
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ	
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ	
運動器関係				
N O.	質問事項	回答		得点
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ	
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ	
8	15分間位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ	
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ	
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ	
栄養・口腔機能等の関係				
N O.	質問事項	回答		得点
11	6ヶ月で2～3kg以上の体重減少はありましたか	1. はい	0. いいえ	
12	身長 (cm) 体重 (kg) (※BMI 18.5未満なら該当) ※BMI (=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))	1. はい	0. いいえ	
13	半年前に比べて堅いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ	
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ	
15	口の渇きがきになりますか	1. はい	0. いいえ	
暮らしぶり その2				
N O.	質問事項	回答		得点

16	週に1回は外出していますか	0. はい	1. いいえ	
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ	
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい	0. いいえ	
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ	
20	今日が何月何日がわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ	
こころ				
N O.	質問事項	回答		得点
21	(ここ2週間) 毎日生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ	
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ	
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ	
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ	
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ	

「運動器疾患と日常生活での困難さについての調査」

「お体の状態」と「ふだんの生活」について、手足や背骨のことで困難なことがあるかどうかをおたずねします。
この1ヵ月の状態を思い出して以下の質問にお答え下さい。
それぞれの質問に、もっとも近い回答を1つ選んで、□に✓をつけて下さい。

この1ヵ月のからだの痛みなどについてお聞きます。

1. 頸・肩・腕・手のどこかに痛み（しびれも含む）がありますか。

痛くない 少し痛い 中程度痛い かなり痛い ひどく痛い

2. 背中・腰・お尻のどこかに痛みがありますか。

痛くない 少し痛い 中程度痛い かなり痛い ひどく痛い

3. 下肢（脚のつけね、太もも、ふくらはぎ、すね、足首、足）のどこかに痛み（しびれも含む）がありますか。

痛くない 少し痛い 中程度痛い かなり痛い ひどく痛い

4. ふだんの生活でからだを動かすのはどの程度つらいと感じますか。

つらくない 少しつらい 中程度つらい かなりつらい ひどくつらい

この1ヵ月のふだんの生活についてお聞きます。

5. ベッドや寝床から起きたり、横になたりするのはどの程度困難ですか。

困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難

6. 腰掛けから立ち上がるのはどの程度困難ですか。

困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難

7. 家の中を歩くのはどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難
8. シャツを着たり脱いだりするのどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難
9. スボンやパンツを着たり脱いだりするのどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難
10. トイレで用足しをするのどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難
11. お風呂で身体を洗うのはどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難
12. 階段の昇り降りのはどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難
13. 急ぎ足で歩くのはどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難
14. 外に出かけるとき、身だしなみを整えるのはどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難
15. 休まずにどれくらい歩くことができますか（最も近いものを選んで下さい）
- 2-3km 以上 1 km 程度 300m程度 100m程度 10m程度
16. 隣・近所に外出するのはどの程度困難ですか。
- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難

17. 2kg程度の買い物（1リットルの牛乳パックを2個程度）をして、持ち帰ることがどの程度困難ですか。

- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難

18. 電車やバスを利用して外出するのはどの程度困難ですか。

- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難

19. 家の軽い仕事（食事の準備や後始末、簡単なかたづけなどは、どの程度困難ですか。

- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難

20. 家のやや重い仕事（掃除機の使用、ふとんの上げ下ろしなど）は、どの程度困難ですか。

- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難

21. スポーツや踊り（ジョギング・水泳・ゲートボール・ダンスなど）は、どの程度困難ですか。

- 困難でない 少し困難 中程度困難 かなり困難 ひどく困難

22. 親しい人や友人とのおつき合いを控えていますか。

- 控えていない 少し控えている 中程度控えている かなり控えている 全く控えている

23. 地域での活動やイベント、行事への参加を控えていますか。

- 控えていない 少し控えている 中程度控えている かなり控えている 全く控えている

24. 家の中で転ぶのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

25. 先行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

26. 先に行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

27. 先に行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

28. 先に行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

29. 先に行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

30. 先に行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

31. 先に行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

32. 先に行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

33. 先に行き歩けなくなるのではないかと不安ですか。

- 不安はない 少し不安 中程度不安 かなり不安 ひどく不安

2. 今回の骨折をする前の骨粗鬆症診断の有無

① なし ② あり ③ 不明

薬物療法の有無： なし あり

過去の骨折の有無： なし（今回が初発）

あり（部位： ）

3. 認知症の有無： ① なし ② あり ③ 不明

*「あり」は長谷川式で20点以下、またはMMSE23点以下、「なし」はそれぞれ21点以上、24点以上としてください。それ以外は「不明」として下さい

→ 不明の場合 看護記録を含めたカルテ記載より下記の症状について

判断力・理解力低下、見当識障害： ① なし ② あり ③ 不明

4. 既往症の有無： ① なし ② あり ③ 不明

「あり」の場合、該当するものに○印をつけてください。

内科系疾患： ① 高血圧 ② 心不全 ③ 不整脈

④ 糖尿病 ⑤ 呼吸器疾患 ⑥ その他（

）

神経系疾患： ⑦ 脳卒中 ⑧ パーキンソン病 ⑨ その他（

）

運動器系疾患： ⑩ 変形性関節症 ⑪ 関節リウマチ ⑫ その他（

）

5. 現在の服薬数 （ ）種類

6. 睡眠導入剤の服用 ①あり [薬名] ②なし

◆ 今回の骨折の状況と治療内容

1. 今回の骨折の発生日はいつですか。

骨折発生日： 年 月 日

確認のためご記入ください。

フォローアップ調査は、上記の骨折の日から1年後の様子についてです。

この患者さんの場合のフォローアップ評価時期（＝上記の骨折発生日から1年後）：

年 月 日



2. 骨折の部位

- ① 大腿骨頸部骨折（右、左）
- ② 大腿骨転子部骨折（右、左）
- ③ 大腿骨骨幹部骨折（右、左）
- ④ 椎体圧迫骨折（胸椎、腰椎）
- ⑤ 上腕骨近位端骨折（右、左）
- ⑥ 前腕骨折（右、左）
- ⑦ その他（ ）

3. 患者は手術を受けましたか。

- ① いいえ
- ② はい、

「はい」の場合、手術内容で該当するものに○印をつけてください。

① 大腿骨骨折

骨接合術： スクリュー ハンソンピン CHSタイプ γネールタイプ

その他（ ）

人工物置換： 人工骨頭置換術 人工関節置換術

②その他（骨折名： 手術内容： ）

4. 骨折治療

①入院あり

入院日： 年 月 日

退院日： 年 月 日

入院日数（ ）日

② 入院なし

5. 入院中に骨密度の測定実施の有無

- ① なし ② あり

「あり」の場合、骨密度： ③ YAMの _____ %

測定部位：④ 橈骨 ⑤ 中手骨 ⑥ 腰椎 ⑦ 大腿骨 ⑧ 不明

6. 入院中に骨粗鬆症関連の治療の有無

- ① なし ② あり

「あり」の場合、薬物療法の有無： ③ なし ④ あり